

2000.

2) 宮崎秀夫: 口腔保健と全身の健康 北九州高齢者スタディーから新潟高齢者スタディーまで, 日衛学誌, 29(2) 7-12, 2000.

3) 宮崎秀夫: World topics, 施設入居高齢者の口腔健康状態, 衛生士誌, 24(5) 77, 2000.

4) 葎原明弘, 佐久間汐子, 宮崎秀夫: フッ化物洗口が mutans streptococci および lactobacilli の唾液中菌数レベルに与える影響について, 新潟歯学会誌, 30, 77-78, 2000.

5) 宮崎秀夫: World topics, 肺癌のマーカーとしての揮発性呼気生体ガス 横断研究, 衛生士誌, 24(9) 77, 2000.

6) 宮崎秀夫: 健康推進を目指す地域歯科保健の新たな試み, 歯界展望(増刊号), 200-201, 2000.

7) 宮崎秀夫: 咬合と全身の関わりを探る 咬合の崩壊と生命の予後をみる, 日本学術会議咬合学研究連絡会議, 16-23, 2000.

8) 宮崎秀夫: World topics, 義歯装着した無歯顎高齢者の舌細菌叢, 衛生士誌, 25(1) 61, 2001.

9) 宮崎秀夫: CPI 地域における歯周疾患の指標, 口腔保健学(宮武光吉他編集), 医歯薬出版, 東京, 109-110, 2001.

10) 境 脩, 小林清吾, 磯崎篤則, 佐久間汐子, 荒川浩久: 歯科における臨床ならびに地域保健のためのフッ化物応用, 歯界展望(増刊号), 30, 2001.

歯科保存学第一講座

【著書】

1) NEAMAT HASSAN ABU-BAKR. PROPERTIES AND BEHAVIOUR OF POLY-ACID MODIFIED COMPOSITE RESIN (COMPOMER).

【論文】

1) Kunihiro Yoshida, Nagako Yoshida, Daniel Aberdam, Guerrino Meneguzzi, Fabienne Perrin-Schmitt, Corinne Stoetzel, Jean Victor Ruch and Hervé Lesot. Differential expression of laminin-5 subunits during incisor and molar development in the mouse. International Journal of Developmental Biology 44(3) 337-340, 2000.

2) 渡邊清志, 福島正義, 岩久正明: 各種ポーセレンラミネートベニア修復症例における技工の要点. 歯科審美, 第12巻, 第2号.

3) 風間龍之輔, 中條和子, 石川和之, 福島正義, 岩久正明: 歯科用 CAD/CAM 「Cerec2」システムにより製作されたセラミッククラウンの適合性. 接着歯学18巻2号, Vol. 18, No2, 119~125, 2000.

4) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Effect of Alcolic and Low-pH Soft Drinks on Fluoride Release from Compomer. Journal of Esthetic Dentistry 12, 97-104, 2000.

5) 福島正義: 歯の色と表情 自然審美を取り戻すために. 歯科審美第13巻第1号, 13(1) 96~101, 2000.

6) LINLIN HAN. NEAMAT H. AKIRA OKAMOTO. MASA AKI IWAKU. A WDX Study of Resin-dentin Interface on Wet vs. Dry Dentin. DENTAL MATERIALS JOURNAL, 19, 3, 2000.

7) EV Cruz, MEM Jimena, EG Puzon, M Iwaku. Undergraduate endodontic teaching in Philippine dental schools. International Endodontic Journal 33(5) 427-434, 2000.

8) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Changes in the mechanical properties and surface texture of compomer immersed in various media. Journal of Prosthetic Dentistry, 84, 444-452, 2000.

9) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Color Stability of Compomer after Immersion in Various Media. Journal of Esthetic Dentistry 12, 258-263, 2000.

10) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku. Effect of Alcoholic and Low-pH Soft Drinks on Fluoride Release from Compomer. Journal of Esthetic Dentistry 12, 97-104, 2000.

11) EV Cruz, Y Shigetani, K Ishikawa, K Kota, M Iwaku, H E Goodis. A laboratory study of coronal microleakage using four temporary restorative materials. International Endodontic Journal.

12) 岩久正明: 研究室紹介 新潟大学歯学部歯科保存学第一講座. 日本接着歯学会, vol.18, no.3, 2000.

13) 庭野和明: 抗菌剤添加充填用ガラスアイオノマーセメントに関する研究 圧縮強度, 崩壊率, フッ素溶出性, 走査型共焦点レーザー顕微鏡による観察および抗菌性. Niigata Dent J, 30(2) 197-207, 2000.

14) 石崎裕子: 高エネルギー迅速照射が光重合型コンポジットレジン硬化特性と修復物窩縁部エナメル質の亀裂発生に及ぼす影響. 日本歯科保存学雑誌, 第44巻, 第1号, 2001.

15) L.Han, N.Abu-bakr, A.Okamoto and M.Iwaku. Study of the Fluoridated Adhesive Resin Cement - Fluoride Release, Fluoride Uptake and Acid Resistance of Tooth Structures. DENTAL MATERIALS JOURNAL, Vol.20, No.1, 114-122, March, 2001.

16) 福島正義, 岩久正明: 変色歯患者の心理 変色歯外来の初診時アンケート調査から, 歯科審美, 13(2) 232-235, 2001.

17) 風間龍之輔, 中條和子, 石川和之, 福島正義, 岩久正明: 歯科用CAD/CAM「Cerec 2」システムにより製作されたセラミッククラウンの適合性と臨床応用. 歯科審美, 13(2) 325-329, 2001.

【研究成果報告書】

1) 主任研究者 岩久正明: 厚生科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業 新たな歯科診療技法等による治療技術開発に関する総合研究 平成12年度(第1回)総括・分担研究報告書 平成13年3月.

2) 研究代表者 中村治郎, 研究分担者 岩久正明, 福島正義: 平成9-11年度 科学研究費補助金(基盤研究(A))研究成果報告書 課題番号09307046「修復物の長期臨床経過に関する実態調査と再修復のための判定基準の確立」平成12年12月.

3) 研究代表者 永田俊彦, 研究分担者 吉羽邦彦: 平成10-12年度 科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))研究成果報告書 課題番号10307047「歯髄・歯周組織疾患の実態ならびに診断に関する分子生物学的研究」平成13年3月.

4) 研究代表者 吉羽邦彦: 平成10-12年度 科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))課題番号10671789「修復象牙質形成過程における象牙芽細胞の分化誘導のメカニズムに関する研究」平成13年3月.

【学会】

1) H. ISHIZAKI*, M. FUKUSHIMA, H. MAKINO and M. IWAKU.: Relationship between Occlusal Force and Enamel Wear in Caries-free Dentition. 78th General Session of the International Association for Dental Research(IADR) Washington D.C., USA, April 5-8, 2000.

2) Australia.JW Brownbill, JC Setcos, M Fukushima, and J-S Shim.: Treatment decision regarding median diastema in Melbourne. 78th General Session of the International Association for Dental Research (IADR) Washington D.C., USA, April 5-8, 2000.

3) E. V. Cruz, K. Ishikawa, Y. Shigetani, K. Kota, M. Iwaku.: Microleakage of temporary endodontic coronal filling materials. 78th General Session of the International Association for Dental Research (IADR) Washington D.C., USA, April 5-8, 2000.

4) N.Abu-bakr, L.Han, A.Okamoto and M.Iwaku.: Color stability of Compomer after immersion in various dietary components. 78th General Session of the International Association for Dental Research (IADR) Washington D.C., USA, April 5-8, 2000.

5) 福島正義, 石崎裕子, 岩久正明: 学童集団における

フッ素洗口プログラムによるう蝕予防効果と歯科医療の変化. 第112回日本歯科保存学会2000年度春季学会, 大阪, 4-20, 21, 2000.

6) 田村貴彦, 中澤 太, 佐藤ミチ子, 星野悦郎, 岩久正明: ウ蝕象牙質, 歯周ポケットから高頻度に検出されるPseudoramibacter alactolyticus の遺伝学的多様性. 第112回日本歯科保存学会2000年度春季学会, 大阪 4-20, 21, 2000.

7) Edward V. Cruz, Yoshimi Shigetani, Kazuyuki Ishikawa, Kohichi Kota, Masaaki Iwaku.: An in vitro Coronal Microleakage Study of Four Interim Endodontic Restoration materials. 第112回日本歯科保存学会2000年度春季学会, 大阪, 4-20, 21, 2000.

8) 本多直子, 重谷佳見, 韓 臨麟, 岡本 明, 岩久正明: 新しく開発されたフッ素徐放性コンポジットレジンに関する研究 フッ素徐放性, 歯質への取り込みおよびその歯質耐酸性に及ぼす影響. 第112回日本歯科保存学会2000年度春季学会, 大阪, 4-20, 21, 2000.

9) 重谷佳見, 岡本 明, 子田晃一, 岩久正明: Er:YAGレーザーにおける歯質蒸散形態の走査型共焦点レーザー顕微鏡による観察. 第112回日本歯科保存学会2000年度春季学会, 大阪, 4-20, 21, 2000.

10) 竹中彰治, 岩久正明: 生体材料とbiofilm 第一報 biofilm形成メカニズム解明への基礎的研究. 第35回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 4-27, 28, 2000.

11) 岩久 正明, 櫻井 薫, 橋本 弘一, 住友 雅人, 中原 泉: 歯科医師臨床研修の必修化に向けての諸制度の整備に関する研究 臨床研修施設の指定基準および第三者評価について. 歯科教育学会, 札幌, 7-6, 2000.

12) 子田晃一, 荊木裕司, 加藤 熙, 西川博文, 田上順次, 河野 篤, 倉地祐治, 井上正義, 新井英雄, 新谷英章, 井上 廣, 梶原慎一, 岩久正明: 科学研究費補助金(基盤研究(A)(1))「シミュレーションシステムの導入による歯科臨床教育の合理化・能率化」について. 歯科教育学会, 札幌, 7-6, 2000.

13) 重谷佳見, 岡本 明, 岩久正明: 走査型共焦点レーザー顕微鏡を用いたEr:YAGレーザーにおける歯質蒸散形態の形状測定と微細構造観察. 平成12年度新潟歯学会第1回例会, 7-8, 2000.

14) 富田文仁, 子田晃一, 岩久正明, 谷口敏雄, 宮原征人: 切削方法と術者の姿勢が切削飛沫による汚染の拡がりに及ぼす影響について. 日本人間工学会, 2000年総会, 第16回研究発表大会, 岐阜, 9-2, 2000.

15) 子田晃一, 谷口敏雄, 岩久正明: 北京医科大学口腔医学院におけるJICA派遣歯科教育実習技術指導. 日本人間工学会, 2000年総会, 第16回研究発表大会, 岐阜, 9-2, 2000.

16) 武井典子, 渋谷耕司, 福田 敬, 中條和子, 福島正

- 義, 岩久正明: 要介護者の口腔ケアに関する研究(第4報) 粘膜および義歯の清掃効果について. 第11回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜, 9-16, 17, 2000.
- 17) 福田 敬, 中條和子, 竹中彰治, 武井典子, 渋谷耕司, 福島正義, 岩久正明: 要介護者の口腔ケアに関する研究(第5報) 義歯清掃における付着細菌及び侵入細菌の除菌に関する研究. 第11回日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜, 9-16, 17, 2000.
- 18) 福島正義, 岩久正明: 変色歯患者の心理 変色歯外来の初診時アンケート調査から. 第11回日本歯科審美学会学術大会, 北海道, 9-23, 24, 2000.
- 19) 風間龍之輔, 中條和子, 石川和之, 福島正義, 岩久正明: 歯科用CAD/CAM「Cerec2」によるオールセラミッククラウンの適合性と臨床応用. 第11回日本歯科審美学会学術大会, 北海道, 9-23, 24, 2000.
- 20) 田辺啓太, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 岩久正明, 小澤英浩: Er:YAGレーザーを用いたラット臼歯窩洞形成後の歯髄反応に関する免疫組織化学的研究. 第42回 歯科基礎医学会学術大会・総会, 大阪, 9-30, 10-1, 2000.
- 21) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 岩久正明: マウス歯胚発生過程におけるラミニン-5の特異的発現. 第42回 歯科基礎医学会学術大会・総会, 大阪, 9-30, 10-1, 2000.
- 22) 武井典子, 伊藤謙三, 渋谷耕司, 福島正義, 福田敬, 中條和子: 義歯の物理的および化学的清掃による除菌効果に関する研究. 第49回日本口腔衛生学会・総会, 北海道, 10-5, 6, 2000.
- 23) 重谷佳見, 岡本 明, 岩久正明: 走査型共焦点レーザー顕微鏡を用いたEr:YAGレーザーによる歯質蒸散形態の三次元的観察. 第36回日本歯科理工学会学術講演会, 岡山, 10-14, 15, 2000.
- 24) YOSHIBA K, YOSHIBA N, IWAKU M, and OZAWA H.: Immunolocalization of fibronectin during reparative dentinogenesis after direct pulp capping in human teeth. International meeting, Signalling mechanisms in dentin development, regeneration and repair: from bench to clinic, Thessaloniki, Greece, 11-10, 11, 2000.
- 25) 小柳 明, 佐藤尚美, 星野悦郎, 岩久正明: 臨床的条件下における各種歯科用コンポジットレジンからのBisphenol-Aの溶出に関する研究. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 11-11, 2000.
- 26) 小林裕二, 重谷佳見, 石川和之, 岡本 明, 岩久正明: 最近の各種レジンボンディングシステムにおける辺縁部微少漏洩の検討とその防止のための臨床技法の確立に関する研究, 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 11-11, 2000.
- 27) 渡邊正勝, 韓 臨麟, 岡本 明, 岩久正明: フッ素溶液およびカルシウムイオン溶液による歯質強化に関する研究. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 11-11, 2000.
- 28) 石崎裕子: 高エネルギー迅速照射が光重合型コンポジットレジンの硬化特性と修復物窩縁部エナメル質の亀裂発生に及ぼす影響. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 11-11, 2000.
- 29) 細矢明宏, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 星 和人, 岩久正明, 小澤英浩: ラット臼歯の皮下移植後に形成される歯髄腔内硬組織に関する免疫組織化学的研究. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 11-11, 2000.
- 30) 福田 敬, 星野悦郎, 岩久正明: 酸素耐性を調べる口腔嫌気性菌の人工バイオフィルムモデル. 平成12年度新潟歯学会第2回例会, 11-11, 2000.
- 31) Masayoshi Fukushima, Ryunosuke Kazama, Kazuko Nakajo, Masaaki Iwaku.: Adaptation of Ceramic Crowns Fabricated by Dental CAD/CAM "Cerec 2" and Its Clinical Application. VI Biennial Meeting of Asian Academy of Aesthetic Dentistry & IX Annual Conf, erence of Indian Academy of Aesthetic & Cosmetic Dentistry, Mumbai, India, 9th ~ 12th November, 2000.
- 32) 岡本 明, 本多直子, 韓 臨麟, 岩久正明: 新しく開発された抗菌性・フッ素徐放性レジンボンディングシステムに関する研究 第一報 フッ素徐放性、フッ素イオンの歯質への取り込み及び歯質耐酸性への影響の検討. 第113回日本歯科保存学会2000年度秋季学会, 東京, 11-16, 17, 2000.
- 33) 韓 臨麟, 重谷佳見, 岡本 明, 岩久正明: 新しく開発された抗菌性・フッ素徐放性レジンボンディングシステムに関する研究 第二報 歯質前処理面及び接着界面の微細構造学的観察. 第113回日本歯科保存学会2000年度秋季学会, 東京, 11-16, 17, 2000.
- 34) 風間龍之輔, 福島正義, 岩久正明: 歯科用CAD/CAM「Cerec 2」システム・クラウンの支台形態と適合性. 第19回日本接着歯学会学術大会, 東京, 1-27, 28, 2001.
- 35) 中條和子, 竹中彰治, 福島正義, 岩久正明: 生体材料とbiofilm 第2報 床用レジン微小亀裂侵入細菌とbiofilm. 第37回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 3-31, 4-1, 2001.
- 36) 韓 臨麟, 高野雅子, 岡本 明, 岩久正明: 最近のレジンボンディングシステムにおける歯質前処理面の共焦点レーザー顕微鏡による観察. 第37回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 3-31, 4-1, 2001.

【講演会】

- 1) 岩久正明: 小千谷ロータリークラブ講演, 新潟, 4-13, 2000.
- 2) 岩久正明: 東京都練馬区スタディークラブ講演, 東京, 4-13, 2000.

- 3) 岩久正明:新潟大学歯学部のSATVと学生の反応 . OMUアソシエーションAPLO, Spring Seminar 2000, 大阪, 4-15, 16, 2000.
- 4) 岩久正明:広島大学歯学部講義, 広島, 5-10, 2000.
- 5) 岩久正明:日本歯科医師会生涯研修講演, 5-21, 山梨県, 2000.
- 6) 岩久正明:日本補綴歯科学会講演, 6-9, 大宮, 2000.
- 7) 岩久正明:日本歯科医師会生涯研修講演, 岡山県, 6-11, 2000.
- 8) 岩久正明:日本歯科医師会生涯研修講演, 三重県, 6-18, 2000.
- 9) 岩久正明:日本歯科医師会生涯研修講演, 大阪府, 7-2, 2000.
- 10) 福島正義:変色歯外来の臨床 漂白から審美まで . 三市中東蒲原郡歯科医師会地区学会学術講演会, 新潟, 7-22, 2000.
- 11) 福島正義:「漂白を中心とした変色歯への対応」. 松村歯科ドクター研修会, 新潟, 8-27, 2000.
- 12) 岩久正明:厚生省歯科医師卒後研修指導医講習会委員長, 東京, 9-1, 2, 3, 2000.
- 13) EV Cruz, K Kota, M Iwaku and E Hoshino.: Efficient Penetration of Propylene Glycol as a Vehicle for Intracanal Medicaments. 15th International Association for Dental Research(South East Asian Division) Taipei, Taiwan, 10-2, 3, 4, 2000.
- 14) 岩久正明:タイ王国タマサト大学歯学部講義, タイ, 11-7, 2000.
- 15) 福島正義:タイ王国タマサト大学歯学部講義, タイ, 11-7, 2000.
- 16) 福島正義:インド, アジア歯科審美学会, インド, 11-9-12, 2000.
- 17) 岩久正明:学術振興会日韓国際学術セミナー講演, 東京, 11-13, 2000.
- 18) 岩久正明:静岡県裾野市富士教育研修所, 厚生省第3回歯科医師臨床研修指導医ワークショップ講演・タスクコース, 静岡, 12-4, 5, 6, 7, 2000.
- 19) 岩久正明:う蝕治療における難症例への対応. NRM コーナス・クローネ・スタディ・クラブ講演会, 東京, 2-22, 2001.
- 20) 岩久正明:口腔の自然美の回復と一般歯科治療, NRM コーナス・クローネ・スタディ・クラブ講演会, 東京, 3-8, 2001.
- 21) 岩久正明:最近のう蝕治療のトピックス,新潟大学歯学部同窓会富山県支部六華会創立15周年記念講演会, 富山, 3-24, 2001.
- 22) 福島正義:“口腔ケアを見直す”. 中条病院, 新潟, 3-27, 2001.

【シンポジウム】

- 1) 福島正義, 岩久正明:「21世紀の白歯修復」, コンボジットレジン充填は信頼できる治療法か, . 第112回日本歯科保存学会2000年度春季学会, 大阪, 4-20, 21, 2000.
- 2) 岩久正明:共催シンポジウム「21世紀の歯科材料・器械 患者のための新しい歯科医療を求めて」, う蝕・歯周病への総括的対応媒体としての期待. 第35回日本歯科理工学会学術講演会, 東京, 4-27, 28, 2000.
- 3) 福島正義:う蝕の診断と治療に関する最新情報 疾患構造からみた21世紀のう蝕. 第19回日本歯科医学会総会, 東京, 5-28, 2000.
- 4) 福島正義:審美障害となる変色歯の診査・診断と最新の治療手技 変色歯の治療に関するソーシャルニード. 第8回日本歯科色彩学会総会・学術大会, 新潟, 7-8, 9, 2000.
- 5) 子田晃一:歯髄を確実に保存するための覆髄法, 日本歯科臨床歯内療法日本歯科保存学会, 仙台, 7-8, 2000.

【テーブルクリニック】

- 1) 福島正義, 福田 敬, 今村麻枝男, 戸川紀子, 岩久正明, 石山直欣, 武井典子, 正田 順:要介護高齢者の口腔ケアについて 給吸ブラシによるケア効果. 第19回日本歯科医学会総会, 東京, 5-27, 2000.

【その他】

- 1) 福島正義:漂白/変色歯外来から見えてくるもの. Dental Diamond増刊号, Vol 25, No.346, 86~93, 2000.
- 2) 福島正義:テトラサイクリンによる歯の変色. DENTAL DIAMOND, AUG.Vol.25 No.348, P.118~119, 2000.
- 3) 福島正義:歯科の最新テクノロジー/白歯用コンボジットレジンの新たな展開-Packable? Condensable?-, DENTAL DIAMOND, SEP.Vol.25 No.350, P.87~91, 2000.
- 4) 岩久正明:新世紀に向かったの歯科審美学・審美歯科診療. 歯科審美第13巻第11号, 2000.
- 5) 福島正義:特集/根面齲蝕の予防と治療 2 根面齲蝕の疫学, 歯科医療, 14(4) 8-14, 2000.
- 6) 福島正義, 石崎裕子, 岩久正明:学童集団におけるフッ素洗口プログラムによるう蝕予防効果と歯科医療の変化, 日本歯科評論, 694号, 9-11, 2000.
- 7) 岩久正明:カリオロジーと保存修復臨床の新世紀, ザ・クインテッセンス, Vol.20, No.1, 175-177, 2001.
- 8) 福島正義:白歯部コンボジットレジン修復の有用性, 歯界展望 別刷, Vol.97, No.3, 2001.
- 9) 福島正義:変色歯・着色歯への対応 第1章 変色歯・着色歯の原因と問題点/外因性因子と 内因性因子, 歯界展望別冊, 8~19, 2000.
- 10) 福島正義:ザ・新用語解説/最新の修復処置を理解

するための用語13(1) 歯科衛生士, 25(3) 62-63, 2001.

11) 福島正義: ザ・新用語解説 / 最新の修復処置を理解するための用語13(2) 歯科衛生士, 25(4) 60-62, 2001.

歯科保存学第二講座

【論文】

1) Yamazaki, K., Nakajima, T., Ohsawa, Y., Tabeta, K., Yoshie, H., Sakurai, K., Seymour, G.J.: Selective expansion of T cells in gingival lesions of patients with chronic inflammatory periodontal disease. *Clin Exp Immunol* 120: 154-161, 2000.

2) Tabeta, K., Yamazaki, K., Hotokezaka, H., Yoshie, H., Hara, K.: Elevated humoral immune response to heat shock protein 60 family in periodontitis patients. *Clin Exp Immunol* 120: 285-293, 2000.

3) Tabeta, K., Yamazaki, K., Akashi, S., Miyake, K., Kumada, H., Umemoto, T., Yoshie, H.: Toll-like receptors confer responsiveness to lipopolysaccharide from *Porphyromonas gingivalis* in human gingival fibroblasts. *Infect Immun* 68: 3731-3735, 2000.

4) Kobayashi, T., van der Pol, W-L., Sugita, N., Westerdaal, N.A.C., Yoshie, H., Horigome, T., van de Winkel, J.G.J., Hara, K.: Relevance of IgG receptor IIIb (CD16) polymorphism to handling of *Porphyromonas gingivalis*: implications for the pathogenesis of adult periodontitis. *J Periodont Res* 35: 65-73, 2000.

5) Kobayashi, T., Sugita, N., van der Pol, W-L., Nunokawa, Y., Westerdaal, N.A.C., Yamamoto, K., van de Winkel, J.G.J., Yoshie, H.: The Fc receptor genotype as a risk factor for generalized early-onset periodontitis in Japanese patients. *J Periodontol* 71: 1425-1432, 2000.

6) Murata, M., Cheng, J., Horino, K., Hara, K., Shimokawa, H., Saku, T.: Enamel proteins and extracellular matrix molecules are co-localized in the pseudocystic stromal space of adenomatoid odontogenic tumor. *J Oral Pathol Med* 29: 483-490, 2000.

7) Nomura, T., Ishii, A., Shimizu, H., Taguchi, N., Yoshie, H., Kusakari, H., Hara, K.: Tissue inhibitor of metalloproteinases-1, matrix metalloproteinases-1 and -8, and collagenase activity levels in peri-implant crevicular fluid after implantation. *Clin Oral Impl Res* 11: 430-440, 2000.

8) Kawase, T., Okuda, K., Yoshie, H., Burns, D.M.: Cytostatic action of enamel matrix derivative (EMDOGAIN) on human oral squamous cell carcinoma-derived SCC25 epithelial cells. *J Periodont Res* 35: 291-300, 2000.

Res 35: 291-300, 2000.

9) Ohsawa, Y., Yamazaki, K., Nakajima, T., Hara, K.: Clonal accumulation of T-cells bearing V β 6 T-cell receptor in chronic inflammatory periodontal disease. *Oral Microbiol Immunol* 15: 211-217, 2000.

10) Okuda, K., Momose, M., Miyazaki, A., Murata, M., Yokoyama, S., Yonezawa, Y., Wolff, L.F., Yoshie, H.: Enamel matrix derivative in the treatment of human infrabony periodontal osseous defects. *J Periodontol* 71: 1821-1828, 2000.

11) van de Straat, F.G.J.L., van der Pol, W-L., Jansen, M.D., Sugita, N., Yoshie, H., Kobayashi, T., van de Winkel, J.G.J.: A novel PCR-based method for direct Fc receptor IIIa (CD16) allotyping. *J Immunol Methods* 242: 127-132, 2000.

12) Sugita, N., Kobayashi, T., Ando, Y., Yoshihara, A., Yamamoto, K., van de Winkel, J.G.J., Miyazaki, H., Yoshie, H.: Increased frequency of FcRIIIb-NA1 allele in periodontitis-resistant subjects in an elderly Japanese population. *J Dent Res* 80: 914-918, 2001.

13) Yamamoto, K., Sugita, N., Kobayashi, T., Okuda, K., van de Winkel, J.G.J., Yoshie, H.: Evidence for a novel polymorphism affecting both N-linked glycosylation and ligand binding of the IgG receptor IIIb (CD16). *Tissue Antigens* 57: 363-366, 2001.

14) Kobayashi, T., Yamamoto, K., Sugita, N., van Spruiel, A.B., Kaneko, S., van de Winkel, J.G.J., Yoshie, H.: Effective *in vitro* clearance of *Porphyromonas gingivalis* by Fc Receptor I (CD89) on gingival crevicular neutrophils. *Infect Immun* 69: 2935-2942, 2001.

15) Okuda, K., Miyazaki, A., Momose, M., Murata, M., Nomura, T., Kubota, T., Wolff, L.F., Yoshie, H.: Tissue inhibitor of metalloproteinases-1, matrix metalloproteinases-1 and -8 levels in gingival crevicular fluid following treatment with enamel matrix derivative (EMDOGAIN). *J Periodont Res*: in press, 2001.

16) Kubota, T., Morozumi, T., Shimizu, K., Sugita, N., Kobayashi, T., Yoshie, H.: Differential gene expression in neutrophils from patients with generalized aggressive periodontitis. *J Periodont Res*: in press, 2001.

17) Kobayashi, T., Yamamoto, K., Sugita, N., van der Pol, W-L., Yasuda, K., Kaneko, S., van de Winkel, J.G.J., Yoshie, H.: The Fc receptor genotype as a severity factor for adult periodontitis in Japanese patients. *J Periodontol*: in press, 2001.

18) Kawase, T., Okuda, K., Momose, M., Kato, K.,